

## 家畜の暑熱対策を実施しましょう!

### 【石狩管内の被害事例から】

◎昨年度の事例(令和3年7~8月)

- ・採卵鶏飼養農場4戸で7,916羽死亡。  
(要因: 外気温が30℃以上になり鶏舎内温度が高温になったことによる。)
- ・豚飼養農場2戸3頭、乳用牛飼養農場1戸1頭で死亡。  
(要因: 連日気温が高く、繁殖豚及び牛が食欲不振、呼吸促迫、起立不能になり死亡した。)

★札幌管区気象台の発表によりますと、6月25日~6月29日にかけて最低気温17℃以上、最高気温29℃と気温が高くなることを見込まれています。こまめに畜舎内の温度や湿度の変化を予察し、日射病や熱射病対策を徹底してください。

★換気システムの整備やホコリの除去、給水装置の整備点検は定期的に行いましょう。また、強風等の後は設備に不具合が無い点検しましょう!

★子牛や起立不能牛等の弱い家畜の係留場所には特に注意し、直射日光の当たり具合や水が十分摂取できているかについて確認しましょう!

### 【家畜が快適に過ごせる環境を作り、事故や生産性低下を防ぎましょう】

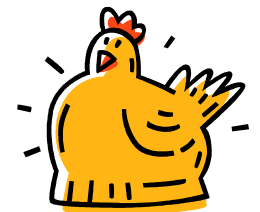
#### 《畜舎環境》

##### ◎直射日光の遮断

緑のカーテンや日よけシート、すだれ、放牧地に日陰を作る など

##### ◎畜舎屋根の断熱・冷却

白色塗装(ペンキ・石灰)、断熱材設置、散水



##### ◎畜舎の通気・換気

戸・窓の開放、扇風機・細霧システムの活用

##### ◎衛生害虫の駆除

ハエ等によるストレスを防ぐ

#### 《飼養管理》

##### ◎家畜の管理

- ・密飼いを避ける
- ・冷水(ミスト)噴霧
- ・バリカンで毛刈り(牛)
- ・敷料の早期交換(湿気抑制)

##### ◎給与飼料

- ・良質な粗飼料を涼しい時間帯に給与
- ・新鮮で冷たい水の給与
- ・ミネラルやビタミンの補給
- ・飼料の腐敗防止(飼槽の清掃)



●サルモネラ症等の伝染病も発生しやすい時期です。衛生管理を徹底し、暑熱ストレス低減、異常の早期発見・早期治療に努めましょう。